

広
報

えびな

2013 (平成25年)
5/1 号
第1012号

ずっと住み続けたいまち、えびな

春風をあつめて

ことしも泳げ こいのぼり



CONTENTS

P2~3	海老名の青空に大谷の`絆、
P4~5	平成25年度施政方針
P6~13	平成25年度予算概要
P14~15	「えびな健康づくり講座」 受講生募集
P16~17	各種案内
P18~19	情報

■ クローズアップ! ■

大谷四区親睦会有志の皆さん。作業後の笑顔が、地域の絆を感じさせてくれます。期間中は、破れたこいのぼりの補修作業などが毎日のように続くとのこと。大谷地区のこいのぼりは、5月5日の子どもの日まで楽しむことができます。



海老名の青空に大谷の`絆、

海老名の春の風物詩、大谷地区のこいのぼりを揚げる作業は、10メートルを超える支柱を立てるところから始まります。「せーのっ! 引っ張れ!」声をかけ合いながら作業を行っているのは、大谷四区親睦会有志の皆さん。休耕田を活用しようと始めたこの取り組みは、ことしで12回目を数えます。

昔ながらの木の支柱を使ったこいのぼりは、昨今ではあまり見られないとのこと。こいのぼりは近隣から寄付されたもので、その数は1000匹以上。年々増えているそうです。

「海老名にもこんなものがあるんだなあ、すごいなあ」という声があふれる。市内にはまだまだ田園も残っている。田園の中のこいのぼりは映えると思う。海老名の名物として、皆さんに楽しんでもらいたい」と、会長の児島さんは笑顔で話してくれました。大谷地区の心をつなぐこいのぼり。地域の絆は、ことしも海老名の空を泳いでいます。



海老名市長 内野 優

25年度は、第四次総合計画後期基本計画スタートの年となります。後期基本計画では、それまでの前期基本計画を継承しながらも、「人口減少と少子高齢化の進行」、「経済情勢の変化」、「地球規模での環境問題」、「自然災害への対応」、「まちづくりの進展」、「新たな地方の姿・地方分権の進展と地域主権」に対応した計画としています。とりわけ、実質的にことしから始まった海老名駅西口地区の整備については、「次代へつなぐ新たなまち。」というキャッチフレーズのもと、27年度のまち開きに向けて重点的な投資を行います。

少子高齢化の進行に伴う人口減少社会の到来については、早急な取り組みが必要です。労働人口の減少は経済活動の停滞を招き、まちの活力の低下につながるとともに、社会保障においては高齢介護を取り巻く多くの課題が発生し、医療、年金などの行政サービスの比重が高まることとなります。第四次総合計画の人口推計では、計画期間中に人口減少に転じることはないと見込んでいますが、高齢化は着実に進行しており、対応する諸施策の充実が欠かせないものと認識しています。

人口減少社会に対応するためには、堅実

な税収の確保が必要となりますが、長引く景気低迷により個人市民税、法人市民税ともに大きな伸びは依然として期待できないなど、市を取り巻く情勢は大変厳しい状況にあります。

しかし、第四次総合計画後期基本計画に位置付けられた、各種施策を確実に遂行することは私の使命であり、あらゆる英知を動員して対処していきます。

私は市長就任以来、「ずっと住み続けたいまち海老名」を目指し、行財政運営に取り組んできました。このまちづくりの理念に対しては、多くの施策を組み合わせることに加え、実現のために多くの財源を要することになります。しかしながら、景気が低迷し、税収の確保が困難な時代にあつては、全てに対し十分な予算の配分ができない面も発生してきます。

市を取り巻く情勢は日々変化していきます。変化に対して、必要な対策は即時とらなければなりません。市長としての責任感のもと、強いリーダーシップを発揮し、大胆な発想と緻密な検証に基づく「選択と集中」の手法で対処し、市の予算については状況に応じた執行ができるよう数回にわたって補正予算の編成を行うなど、柔軟な

対応をしていきたいと考えています。

海老名市は新たなまちづくりに入りました。このまちづくりは、単なる建設事業の集合体によるまちづくりではありません。今の海老名市を担っている市民に限らず、これから海老名市で学び、働き、素晴らしい人生を送る将来の海老名市民にも、住んで良かった、と言われるものでなければなりません。と私は思っています。

また、このまちづくりは新たな税を生み出します。新たに生み出された税により、さらに多くの施策が展開できます。これにより、元氣な海老名を継続できると私は確信しています。

まちづくりには多くの予算と、労力が必要です。海老名市はここ数年、後戻りができない、まさに正念場を迎えており、これを取り切るためには、オール海老名での対応が必要になります。これらの思いを込め、25年度予算を編成しました。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

25年度に展開する事業のテーマは7項目

新規事業や充実を図る事業を中心に、大きく7項目のテーマを設けました。各項目の詳細については、8ページ以降に掲載しています。

I 「次代へつなぐ新たなまち。」

元氣なまちの魅力発信と、県央の拠点都市としてのポテンシャルを開花させるべく、海老名駅を中心とした、東西が一体となった拠点市街地形成に向け、海老名駅自由通路整備事業についても早期完成に向けて取り組みます。

II 「未来を支える子どもを育むまち」

保育園、幼稚園、学校、家庭、そして地域が連携することで、子どもたちを支えていきます。子どもたちが通う施設や、見守り、指導する体制を充実することが、未来を支える子どもたちにとっては必要です。子育てしやすい環境を作り上げ、「ずっと住み続けたいまち海老名」のイメージをより強めていきます。

III 「災害に強いまち」

東日本大震災の被災地復興のため、全国市長会と協力し、職員の派遣も行っています。震災の記憶が残る中で、市民の不安を

払拭するためにも、防災、減災につながるハード・ソフト両面の対策を強化します。

IV 「誰もがいきいきと暮らせるまち」

住み慣れた家庭や地域で、それぞれのライフスタイルに合わせた生活を送り、誰もが健やかに暮らせる環境を充実させていきます。

V 「産業も元氣なまち」

首都圏に位置し、住・農・商工業空間が近接し、バランスよく配置されている海老名の特性を活かし、産業振興を促すための道路整備などを含めた環境を充実させていきます。

VI 「地球に優しい未来を海老名から」

太陽光発電施設など、温室効果ガス削減に有効な省エネルギー施設の設置に対する補助を通じて、設備の普及促進を図っていくこと、また、緑を守り育てる活動を推進しながら、地球環境に優しいまちになることを目指します。

VII 「行政改革の継続的な取り組み」

健全な行財政運営に努め、持続可能な都市経営を行うため、一層の行政改革に取り組んでいきます。



平成25年度予算額

会計名	予算額	対前年度伸び率
一般会計	391億2,400万円	6.1%
国民健康保険事業特別会計	134億1,512万1,000円	0.8%
下水道事業特別会計	30億4,044万5,000円	8.7%
介護保険事業特別会計	59億1,535万9,000円	6.7%
後期高齢者医療事業特別会計	11億4,206万2,000円	6.2%
合計	626億3,698万7,000円	5.1%

次代へつなぐ新たなまちづくり 25年度 元気な海老名を継続する予算

第四次総合計画の将来都市像、「快適に暮らす 魅力あふれるまち 海老名」の実現に向け、「今の海老名市に何が必要なのか」そして、「将来の海老名市のために今何をすべきか」という視点に立ち、各事業の必要性や費用対効果を見極め、持続可能な都市経営の理念に基づいた予算編成に取り組んだ25年度予算。主要事業を中心にその概要をお知らせします。

● **まちづくりを進めると貯金(基金)が減って、借金(市債)が増えるけど大丈夫?**
23年度決算では、県内市の中で市民1人あたりの基金は3番目に多く、市債は一番少ないという結果になっており、まだ十分に活用する余地があると言えます。

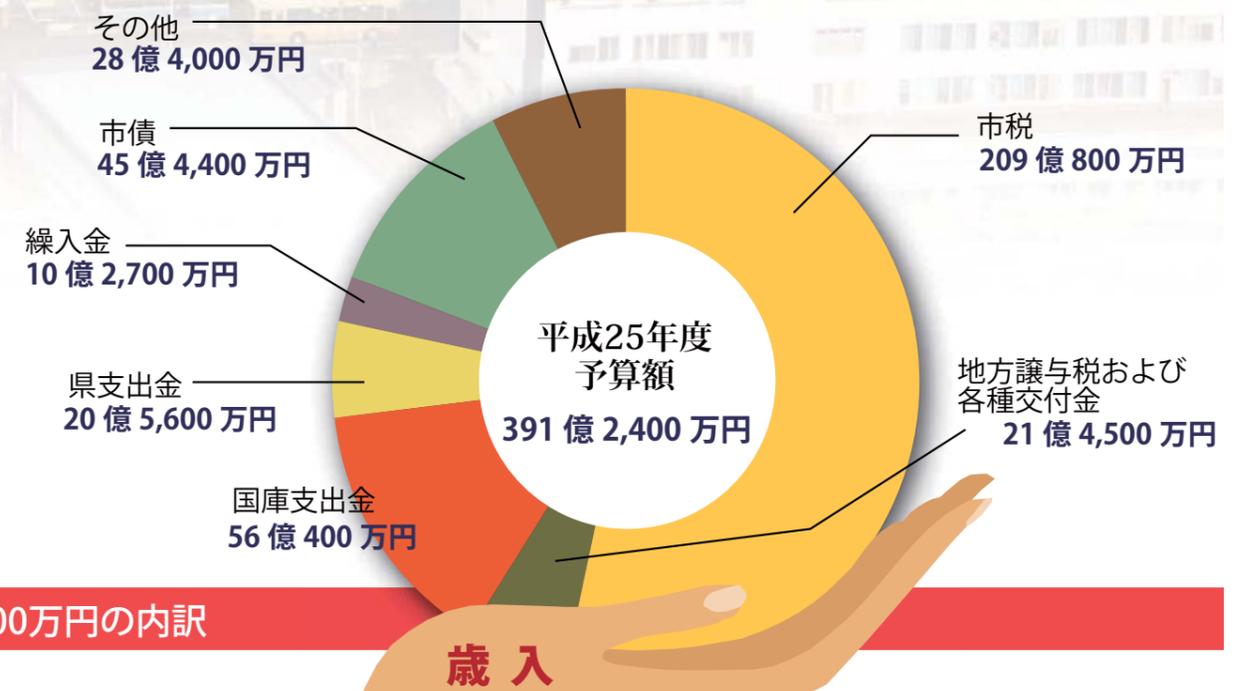
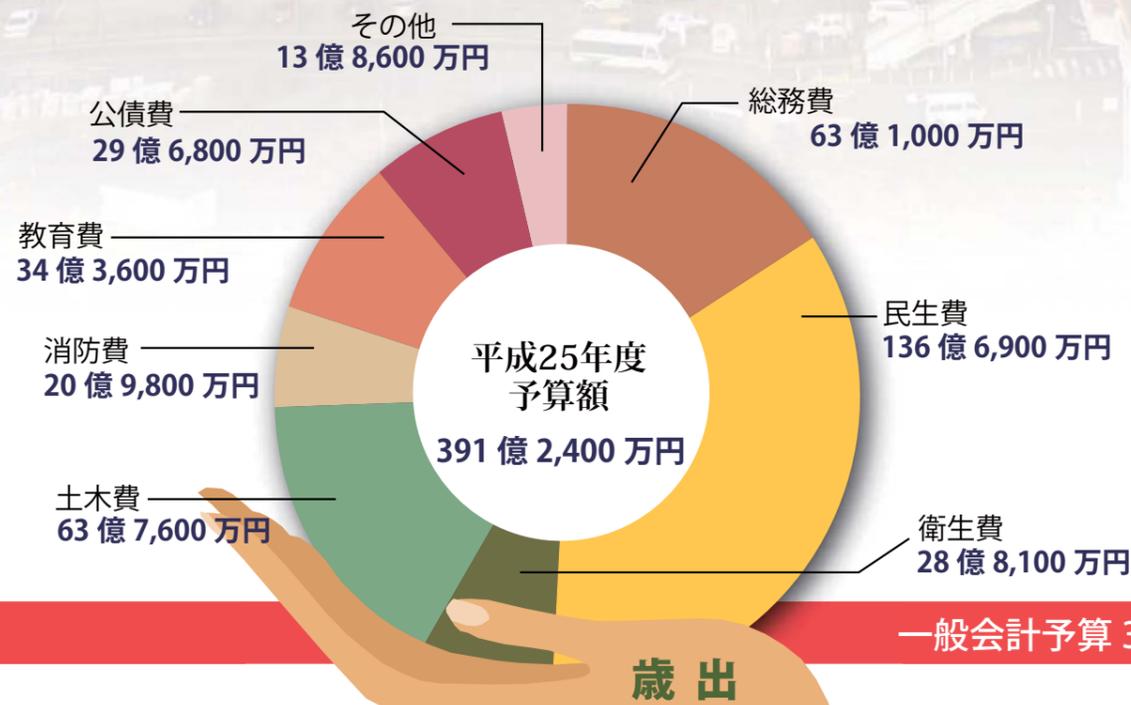


● **まちづくりを進めているのはなぜ?**
今後さらに少子高齢社会が進行しても、市民サービスを低下させないようにするための先行投資として、「次代へつなぐ新たなまちづくり」を推進しているからです。

● **民生費はなぜこんなに多い?**
少子高齢化や景気低迷などにより、生活保護費や社会保障に関する制度や対象者が増えているからです。これは海老名だけでなく、全国的な傾向です。

● **海老名の財政状況は?**
23年度の決算を踏まえた本市の財政状況を見ると、歳入については長引く景気低迷の影響などにより、市税が4年連続で減少しています。一方、歳出については人件費と公債費は減少しているものの、児童手当や生活保護費などの扶助費が増加しています。
また、大幅な税収の増加は見込めないことから、今後は財政の硬直化(※)が進行することが懸念されています。

(※) 財政の硬直化：経常的に支出する経費の増加などにより、財政運営の自由度が低下し、弾力的な財政運営が困難になること。



一般会計予算 391億 2,400万円の内訳

主要事業

I 次代へつなぐ新たなまち。

海老名駅西口地区土地
区画整理事業の本格着手

13億4043万4000円
市街地整備課

海老名市の長年の夢実現

海老名駅西口土地区画整理組合が、14・1ヘクタールの事業区域で土地区画整理事業に着手。基盤整備などを組合と市が協働で進めることで、海老名駅の東西地区を一体とした中心市街地の実現を図り、県央の拠点市街地形成を目指します。

海老名駅自由通路
(駅間部・西口部)の整備

9億9224万2000円
駅周辺対策課

海老名駅東西一体のまちづくり

駅間自由通路の拡幅整備に加え、西口地区で進む土地区画整理事業地内への延伸整備も併せて行うことで、安全で快適な歩行空間の確保を図ります。

海老名駅西口地区
関連道路の整備

5億5565万9000円
道路整備課・市街地整備課

新たなまちの交通円滑化に向けて

(仮称)上郷河原口線、市道307号線、市道307号線バイパス、市道61号線の整備を推進します。

さがみ縦貫道路海老名IC
関連道路整備の推進

6億5336万6000円
道路整備課

道路網整備による住環境の改善

さがみ縦貫道路海老名インターチェンジから発生する交通量に対処

するため、新たな交通網を整備し、交通の分散化と住環境の改善を図ります。25年度は、海老名ジャンクション付近の市道整備や市道53号線バイパスの整備を推進します。

歩行者の安全確保のための
歩道整備の推進

2億7599万円
道路整備課

安全・快適な道路空間の確保

歩車道の分離を図り、歩行者の安全と快適な道路空間を確保します。また、歩道のバリアフリー化により、交通弱者が安心して通行できる道路整備を推進します。

中央地区歩車共存道路の
整備推進

3200万円
道路整備課

海老名駅周辺地区の利便性向上に向けて

23～24年度に実施した、市中心市街地を横断する38号水路のボックス化に伴い、その上部の道路整備工事を行うことで、海老名駅周辺の利便性向上を図ります。

特別支援教育の充実

7636万2000円
教育指導課

補助指導員などの市費による配置

特別に教育的支援が必要な児童・生徒に対し、補助指導員・介助員・日本語指導講師などを配置することで、学校での学習や生活への適応を図ります。25年度は介助員を増員します。

えびなっ子サマースクール
事業の実施

816万7000円
教育指導課

夏季休業中の児童の居場所づくり

夏季休業期間中に学校施設を開放し、学習や遊び、芸術体験の場を提供します。25年度は各校でプログラムを自主的に編成し、内容の充実に取り組みます。

私立幼稚園における
給食の提供

701万1000円
子育て支援課

幼児期からの食育の推進

食育と小学校入学前の学校給食

子ども医療費助成事業の
継続

5億5654万5000円
子育て支援課

中学校3年生までの医療費助成

所得制限を設けず、入院・通院費用の助成を25年度も継続します。

安全安心子ども
パトロール事業の開始

460万2000円
子育て支援課

安全で安心な子育て環境の向上

市内認可保育園および私立幼稚園の巡回監視や、園児に対する防犯・防災訓練指導を行います。非常勤嘱託員(警察官OBなど)が常時2人体制で巡回監視を実施し、防犯、交通安全に関する講話や、安全管理のための防犯・防災訓練指導を行います。

II 未来を支える こどもを育むまち

きれいで居心地のよい
学校づくりの推進

1600万6000円
教育総務課

児童・生徒が快適に学校生活を送るために

学校の生活環境を家庭環境に近づけるため、全小中学校のトイレに洗浄便座などを設置し、試行的に各学校に電気掃除機を配備します。

いじめのない
学校づくりの推進

1644万5000円
学校教育課

児童・生徒が笑顔で学校生活を送るために
指導体制強化のため、青少年相

コンピューター利用教育の
推進

1億5546万5000円
教育指導課

電子黒板、プロジェクターなどの充実

児童・生徒が積極的にコンピューターなどの情報手段を活用できるように、ICT(※)環境の整備や充実を図ります。25年度は、電子黒板機能内蔵プロジェクターや書画カメラ、学習指導用パソコンなどの充実を図ります。

少人数指導の充実

1656万円
学校教育課

きめ細かい指導体制を確保

35人学級の実施と少人数指導体制の充実を図り、きめ細かい指導を行います。35人学級の推進に伴い教員が不足するため、市費による非常勤講師を配置することで、指導体制を確保します。



※1 ICT…情報・通信に関連する技術関連の総称

市民活動センター「レクリエーション館」の建設
 17億5868万7000円
 市民活動推進課

協働のまちづくりの拠点施設の建設
 市民の運動機能を維持向上し、健康増進を図るとともに、スポーツを通じて市民活動を推進するため、26年8月の完成を目指して市民活動センター「レクリエーション館」を建設します。



IV 誰もがいきいきと暮らせるまち

コミュニティセンターの計画的な大規模改修
 2億4379万5000円
 地域自治推進課

多様化する市民ニーズへの対応、バリアフリー化の推進などを目的し、コミュニティセンターの大規模改修を計画的に実施します。25年度は、上今泉コミュニティセンターの改修工事を実施します。

新規 (仮称)えびな市民大学 創設準備 523万円
 市民活動推進課

まちづくりを担う新たな人材育成
 市政に幅広く提言・意見を発信する人材や、生涯学習を通じて地域で活躍する人材など、まちづくりを担う人材の育成と活動支援を行うため、市民活動センター「レクリエーション館」に、えびな市民大学の開校を目指します。
 なお、25年度はプレ開校として講座を実施します。

新規 介護ボランティアポイント 制度の創設 158万6000円
 高齢介護課

ボランティア活動を通じた介護予防
 高齢者の社会参加と生きがいづくり、ボランティア活動を通じた介護予防を目的とし、高齢者が介護施設などで行う社会貢献活動に応じたポイントを獲得できる、介護ボランティアポイント制度を創設します。獲得したポイントは、特産品などと交換できるものとして、(介護保険事業特別会計で実施)。

新規 予防接種事業の充実 3億2322万8000円
 健康づくり課

重症化の予防に向けて
 肺炎球菌による肺炎の発症は高齢になるほど高くなることから、25年度は新たに高齢者肺炎球菌ワクチン接種を実施します。また、伝染性疾患が地域でまん延しないよう、予防接種実施のより一層の勧奨に努めます。

新規 「ウォーキング・ラン・タウンえびな」の事業開始 2200万円
 道路整備課

健康推進に向けた歩道整備計画
 横須賀水道路の歩道整備を行います。

新規 わかば会館の大規模改修 1333万5000円
 障がい福祉課

障がい福祉の拠点整備
 老朽化が進むわかば会館について、障がい福祉の拠点にふさわしい機能を有する施設として整備するため、改修に向けた設計を実施します。

新規 介護老人福祉施設建設に対する助成 5472万円
 高齢介護課

介護老人福祉施設の充実
 市高齢者保健福祉計画の目標達成のため、市内の社会福祉法人が行う120床の施設整備に対して支援を行います。

災害時防災資機材などの備蓄
 災害時における生活必需品や防災資機材などを備蓄し、迅速かつ効果的な防災体制を構築するため、市内3カ所目の大型防災備蓄倉庫を南部地区に建設し、供用を開始します(25年3月補正予算計上)。

新規 南部地域大型防災備蓄倉庫の建設 1億222万1000円
 危機管理課



III 災害に強いまち

災害時における非常食の安定確保
 神縄・国府津・松田断層帯地震における、市内の避難者および帰宅困難者数を想定した食糧を確保するため、30万食を備蓄しています。25年度以降は、30万食を備蓄し続けるため、非常食を順次更新していきます。

新規 災害時備蓄物品の充実 3929万1000円
 危機管理課

災害時における飲料水の安定確保
 大規模災害時に飲料水を確保するため、災害時に拠点となるわかば会館に飲料水兼用貯水槽を設置します。また、飲料水兼用貯水槽が設置されていない避難所に地下水膜ろ過システムを試行的に設置し、効果の検証を行います。
 なお、平常時は水道水と併用して利用できることから、水道料金の削減効果も併せて検証します(飲料水兼用貯水槽設置については25年3月補正予算計上)。

新規 避難所給水設備の整備 1億5798万3000円
 危機管理課

災害時物資搬送の円滑化に向けて
 災害時に各避難所へ飲料水や各種備蓄物品を円滑に搬送するため、市民の協力のもとで貨物車両の提供を行う「災害協力車両登録制度」を創設します。



新規 災害時協力車両登録制度の創設 13万7000円
 危機管理課

新規 3市消防指令センターの建設 4億3697万円
 消防総務課

消防指令業務の共同運用
 海老名市、座間市および綾瀬市の3市の人口、34万人の119番通報を共同運用することで、3市の消防・救急活動の迅速かつ的確な相互応援体制を構築するため、共同指令センターの建設に引き続き取り組みます。
 25年度は、高機能消防指令システム整備と消防救急デジタル無線活動波整備に取り組みます。

新規 大規模トリアージ訓練の実施 300万円
 健康づくり課

大災害に備えた訓練の実施
 大規模災害に備え、多数の傷病者が発生した際の救命順序を決めるため、トリアージ(※3)訓練を市民、市医師会、病院などと連携して実施します。なお、訓練結果によりマニュアルなどの改定をします。

※3 トリアージ…負傷者を重症度・緊急度などによって分類し、治療の優先度を決定すること

新規 市営国分北三丁目住宅の大規模修繕
9,021万9,000円
住宅公園課

施設長寿命化に向けた大規模修繕
市営住宅長寿命化計画に基づき、市営国分北三丁目住宅の大規模修繕を行い、安全で快適な居住空間を提供します。

新規 市営上河内住宅の建設
4,228万9,000円
住宅公園課

老朽化した市営杉久保住宅の建て替え
老朽化している市営杉久保住宅の建て替え事業として、南部給食センター跡地に新たに市営住宅を建設します。(25年1月および3月補正予算計上)。

新規 空き地・空き家の適正管理に関する条例制定
1,500万円
住宅公園課

空き地・空き家の適正管理に向けて
空き地や空き家などが放置され、管理不全な状態を防止し、良

新規 芸術文化の育成のために
7,633万6,000円
文化スポーツ課

歴史遺産である史跡相模国分寺跡で「えびな薪能」を開催します。また、新たに「野点」を実施することで、日本の伝統文化に触れる機会を創出します。

好な住環境を維持するため、25年度中に(仮)空き地・空き家の適正管理に関する条例の制定を目指します。この基礎資料とするため、住宅実態調査などを行います(25年1月補正予算計上)。

新規 (仮称)中野公園パークセンターなどの整備
6,550万円
文化スポーツ課

施設の有効活用に向けて
(仮称)中野公園に高架下駐車場や管理棟を整備するとともに、公園全体の管理施設となるパークセンター建設に向けた設計を実施します(25年3月補正予算計上)。



新規 商店街の活性化に向けた検討
3,500万円
商工課

商店街の活性化
空き店舗が増えている国分寺台中央商店街の維持・継続に向け、今後のあり方と、施設整備の方向性を検討し、支援します。

新規 資源化センター大規模改修基本計画の策定
704万円
資源対策課

改修に向けた基本計画の策定
リサイクルプラザを含めた施設の配置や設備更新に関して、基本計画を策定します。

新規 環境保全対策支援事業費
3,098万8,000円
環境みどり課

省エネルギー施設の普及に向けて
太陽光発電施設など、温室効果ガス削減に有効な省エネルギー施設などの普及を促進するため、市民・市内事業者に導入・設置費用の一部を補助します。また、照明設備(LED)の設置を新たに補助対象に追加します。



新規 「森の楽校」事業の推進・支援
51万円
環境みどり課

楽しみながら森づくりを
森とみどりを造り、育て、守り、未来へ伝えていく活動を推進し、市民団体「森の楽校」の活動を充実するため、支援を図ります。



新規 企業立地促進事業の継続
3,300万円
商工課

優良企業の誘致のために
優良企業誘致に取り組んだ実績から、制度を充実、継続します。

新規 農業基盤整備事業の推進
6,995万8,000円
農政課

農用地の大型化に向けた畦畔除去
農業振興地域内農用地の農作業を効率的に行うことを目的に、農地の一区画を大型化するため、水田の畦畔の除去を試行的に行います。

新規 農業拠点づくりの推進
4,466万5,000円
農政課

農地の有効活用と遊休農地解消に向けて
市がコンバインなどの農機具を貸し出すことで、地域営農団体を中心とした農作業の受委託を促進し、農地の有効活用と遊休農地の削減を図ります。

新規 総合窓口業務の民間委託
6,749万7,000円
窓口サービス課

市民サービスの向上
市役所1階の総合窓口について、市民サービスの一層の向上を目指すため、民間事業者の技術などを活用し、効率的で効果的な案内と窓口業務を実現するため、フロア案内および一部の窓口業務の委託を行います。



新規 行政改革の継続的な取り組み
6,749万7,000円
窓口サービス課

市民サービスの向上
市役所1階の総合窓口について、市民サービスの一層の向上を目指すため、民間事業者の技術などを活用し、効率的で効果的な案内と窓口業務を実現するため、フロア案内および一部の窓口業務の委託を行います。



新規 障がい者デイサービスセンターに太陽光発電設備を設置
3,512万8,000円
障がい福祉課

災害時における電力安定確保
災害時における電力の安定確保に向けて、県の補助金を活用し、障がい者デイサービスセンターに太陽光発電設備および蓄電池設備を設置します。

※2 畦畔(けいはん) …田畑の端にある細長い土地部分。一般的に、あぜ道を指す

「食を通じた健康づくり」を広げる 食生活改善推進員

【25年度の主な活動予定】

- がん検診時の生活習慣病予防食の普及
- 食育講座
- キッズクッキング など



「えびな健康づくり講座」の受講者が考えた献立。彩りはもちろん、カロリー・塩分も控えて野菜も豊富に取り入れています。

一緒に活動しませんか？

「地域で何か活動したい」健康づくりの担い手たち

健康えびな普及員・食生活改善推進員として、市内各地域で活動している方たちがいます。委員として活動するには「えびな健康づくり講座」の受講が必要。受講生募集に併せ、同講座を受講後、実際に活動を続ける会員の方に話を聞きました。

☎健康づくり課 (235) 7880

「健康づくり全般」を広げる 健康えびな普及員

【25年度の主な活動予定】

- 海老名のびのび体操の普及
- 健康体操教室
- 体力測定
- 普及員研修会 など



健康えびな普及員の皆さん

食生活改善推進団体えびな会

【発 足】 昭和34年6月
【会員数】 89人 (25年4月現在)
【内 容】 「おいしく、楽しく、健康に」をモットーに、乳幼児から高齢者までが健全な食生活を実現できるよう、幅広く食育活動を行っています。小学校でのふれあい教室料理講習会、地場産野菜を使った食育講座や男の料理教室など、多岐に渡る活動を行っています。

活動を始めて1年、家庭でもきちんと「だし」を取るようになり、バランスを考えた野菜多めの減塩料理を心掛けるようになりました。

会で習った献立などを続けて、85歳の母親が、脂質異常症や腎臓の薬を飲まずに済むようになったことが一番の驚きでした。これらことから、食生活の大切さを痛感しています。この講座での献立は、身近な食材で簡単に作れるものが多いので、ぜひ気軽に参加してください。



食生活改善推進員
高橋幸恵さん (国分北在住)

食生活改善推進員
古屋亜衣さん (河原口在住)

健康えびな普及員会

【発 足】 昭和53年4月
【会員数】 40人 (25年4月現在)
【内 容】 定例会 (毎月1回)、地区活動、研修 (救命救急法、AED講習、他市との交流会、施設工場見学)、イベント参加 (ゲンキ! えびなっ子プレイグラウンド内での健康測定)、派遣活動 (スポレク、健康なまちづくり事業、自治会などへの協力)



人と人とのつながりを大切に、一緒に活動する仲間もできました。各教室に参加した方との出会いや笑顔が、次の活動への活力になっていきます。のびのび体操でいい汗を流し、心身ともにリフレッシュできるよう取り組んでいきたいです。若い方の参加も大歓迎です。ぜひ一緒に活動しましょう！

健康えびな普及員
松竹康子さん (柏ヶ谷在住)

食生活改善推進員編



グループで献立作成をします。食品成分表を見ながら、使用する材料の栄養価を計算し、1食あたりの栄養価を出します。自分たちが立てた献立は、最終日にお披露目会を行います。

昨年の講座・活動の様子



講座終了後の活動例「キッズクッキング」



健康えびな普及員編



海老名のびのび体操

生活習慣病予防やこころの健康、お口の健康などの知識を得ることができま。運動実習では主にウォーキングや「海老名のびのび体操」を学びます。地域の健康づくりを普及することを目的に、自らの健康づくりを実践しながら、そのスキルを地域の皆さんに広げる人を養います。

自分でも健康づくりを実践しながら、周りの人にも健康づくりを広げてみませんか？ 講座終了後は、健康えびな普及員または食生活改善推進員となり、地域の健康づくりの担い手として活動します。

▼期間 8月9日(金)～12月17日(火) ※詳細は、市ホームページをご覧ください。

▼受講回数 健康えびな普及員：8回、食生活改善推進員：10回

▼会場 保健相談センターほか

▼対象 市内在住・おおむね20～69歳の方で、講座終了後、健康えびな普及員または食生活改善推進員として活動できる方

▼定員 各20人

▼内容 こころと体の健康づくり(講話、グループワーク)、体力測定、調理実習、献立作成のポイント、運動実技(海老名のびのび体操)など

▼費用 500円(調理実習時実費徴収あり)

▼申し込み 7月19日(金)までに、直接または電話で健康づくり課へ。

▼その他 受講生には海老名のびのび体操で使用するゴムバンドを進呈。

受講生募集

平成25年度
えびな健康づくり講座

宝くじ文化公演 ブルーアイランド氏のおしゃべりコンサート

～青島広志・神奈川フィルハーモニー管弦楽団～

☎ 文化スポーツ課 (235) 4797 文化会館 ☎ (232) 3231



指揮・お話
青島広志氏

「題名のない音楽会」「世界一受けた授業」など各種の音楽番組やバラエティ番組で活躍する青島広志氏の指揮によるコンサートです。演奏は、神奈川フィルハーモニー管弦楽団。誰もが一度は聴いたことがある馴染み深いクラシックや映画音楽をお届けします。



本公演は宝くじの助成により、特別料金となっています

- ▶日時 7月24日(水)19時開演 (18時開場)
- ▶会場 文化会館大ホール ▶定員 1,000人
- ▶費用 一般 2,000円・高校生以下 1,000円 ※未就学児は入場できません。
- ▶曲目 ヴェルディ/歌劇「アイダ」、より「凱行進行曲」、サウンド・オブ・ミュージック、より「ドレミの歌」ほか
- ▶チケット販売場所 文化会館、相鉄グリーンポケット海老名駅ほか

人権擁護委員の新任

☎ 市民活動推進課 (235) 4568

人権擁護委員に、新たに池亀 隆氏(国分南在住)が任命されました。任期は4月1日～平成28年3月31日の3年間です。

同委員は、市長が推薦し法務大臣が委嘱するもので、人権に関する市民相談や啓発活動を中心に、市内で8人が活動しています。お気軽にご相談ください。

6月1日は

「人権擁護委員の日」

- ☎ 特設人権相談所を開設
- ▼日時 6月3日(月)13時～16時
- ▼会場 市役所705会議室
- ▼相談内容 親族・近隣・悩み事一般(予約制・秘密厳守)
- ▼費用 無料
- ▼申し込み 直接または電話で市民活動推進課へ。

趣味に親しみながら、仲間と知り合うきっかけづくりの場 高齢者生きがい教室へご参加ください

☎ 高齢介護課 (235) 4950
市シルバー人材センター ☎ (237) 3001

【30方教室(全6回)】

- 心身の機能を高めます。体の硬い方にお勧めの教室です。運動しやすい服装で参加してください。
- ▼日時 5月23日～6月27日の毎週(木)13時30分～15時
- ▼定員 15人
- ▼講師 神奈川県スポーツリーダー・加藤不二江氏
- ▼費用 無料
- ▼持ち物 汗拭き用タオル、飲料

【大正琴教室(全6回)】

- 基本から学び、懐かしい曲を楽しんで演奏できるようにします。
- ▼日時 5月25日～6月29日の毎週(土)10時～12時
- ▼定員 15人
- ▼講師 シルバー人材センター会員・戸田ユキ氏
- ▼費用 500円(琴借用代)
- ※大正琴を持参できる方は、はがきに明記してください。
- ▼持ち物 筆記用具

【ハワイアンキルト教室(全7回)】

- 初心者を対象に、トートバッグを楽しみながら作ります。
- ▼日時 5月27日～7月8日の毎週(月)10時～12時
- ▼定員 20人
- ▼講師 キルトサークル「YOSIE」主幹・菅原由恵氏
- ▼費用 2500円(布代)
- ▼持ち物 裁縫道具

共通事項

- ▼会場 高齢者生きがい会館
- ▼対象 市内在住の60歳以上の方で、全日程参加できる方(初めての方優先・定員を超えた場合は抽選)
- ▼申し込み 往復はがき(1人1枚)に、住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、〒243-0410 杉久保北2-3-4 高齢者生きがい会館「○○教室」係へ。5月15日(水)必着。

保健相談センターだより

☎ 健康づくり課 (235) 7880

こころサポーター(ゲートキーパー)研修

自殺を予防するため、受講者自身の心の健康づくりに着目し、自殺問題を考えるきっかけづくりにするとともに、家族や周囲の人たちの不調に気付き、対応する方法を学びます。

- ▼日時 6月13日(木)10時～12時(受け付けは9時45分から)
- ▼会場 保健相談センター
- ▼対象 市内在住の方
- ▼定員 30人(事前申込制)
- ▼講師 臨床心理士・佐々木良枝氏
- ▼費用 無料
- ▼申し込み 5月1日(水)から、直接または電話で、健康づくり課へ。

脳イキイキ教室

☎ 認知症を予防しましょう

- 脳を活性化させるコツを学びます。
- ▼日時 6月3日～8月26日の毎週(月)(祝を除く)9時30分～11時30分(受け付けは9時20分から)
- ▼会場 総合福祉会館

第1回病院探検ツアー

- ▼日時 6月1日(土)8時30分～13時(予定)
- ▼会場 海老名総合病院
- ▼対象 小・中学生
- ▼定員 5人程度
- ▼内容 病院見学(手術室・CT撮影室・調剤室)、リハビリ体験など
- ▼申し込み 往復はがきに、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・食物アレルギーの有無を記入し、〒243-0433 河原口13-20 海老名総合病院総務課内「私たちの病院探検ツアー」企画係へ。5月22日(水)必着。
- ▼問い合わせ 海老名総合病院 ☎ (233) 1311

**プラネタリウム一般投影
「春の星座」など**

☎ 教育指導課 ☎ (235)4919

入場無料。直接会場へ。
 ⑤ 5月11日(土)・12日(日)13時～、
 14時～、15時～、**場**海老名スター
 ドーム(中央図書館4階) **定**各
 回とも先着80人 **他**投影時間は約
 30分。投影開始30分前から受付
 開始。

エコマーケット飛鳥

☎ 海老名飛鳥ライオンズクラブ事務局
 ☎ (232)9984(平日12時～16時)

市内の方が100店舗以上出店
 します。ぜひ、ご来場ください。
 ⑤ 5月19日(日)10時～15時(雨天
 中止) **場**市役所西側催事広場

今月の納税・納付

〈納期限 5月31日(金)〉

- ◆ 固定資産・都市計画税 [1期]
- ◆ 軽自動車税 [全期]
- ◆ 保育所保育料 [5月分]
- ◆ 小学校給食費 [1期]

**～広げよう 地域に根ざした 思いやり～
民生委員パネル展示**

☎ 福祉総務課 ☎ (235)4820

「民生委員・児童委員の強化
 週間」に合わせ、パネル展示を
 行います。民生委員の活動をパ
 ネル展示するほか、簡易相談
 コーナーも設置します。
 ⑤ 5月13日(月)～17日(金)10時～15
 時 **場**市役所 1階エントランス
 ホール

働く車が大集合

☎ ビナウォーク
 イベントインフォメーション
 ☎ (234)0029



普段は触れる事ができないパ
 トカーなどの「働く車」の展示、
 実演をします。車内・車外で自
 由に記念撮影ができます。ぜひ、
 ご来場を。
 ⑤ 5月5日(日)10時から **場**海老名
 中央公園 **内**パトロールカー、白
 バイ、電気自動車の展示など

**毎月第3(土を含む)木～土は
生ごみ処理機展示会**

☎ 資源対策課 ☎ (235)4923

生ごみ処理機って何?どんな
 ものがあるの?使い方は?生ご
 み処理機についての疑問・質問
 に専門家が答えます。
 ⑤ 毎月第3(土)の開庁日を含む(木)
 ～(土)(日程の変更がある場合は、
 別途お知らせします) 9時～16
 時30分(土は12時まで) **場**市役
 所 1階エントランスホール

**一斉美化清掃
「えびなクリーン作戦」**

☎ 資源対策課 ☎ (235)4922

えびなクリーン作戦を柏ヶ谷
 小学校区域内で実施します。参
 加は自由です。直接、下記臨時
 ごみ集積所へお越しを。軍手な
 どは持参してください。
 ⑤ 5月26日(日) 9時～9時45分
 (小雨決行) **他**10時から、柏ヶ
 谷小学校で閉会式を行います。
 ※駐車場はありません。

【臨時ごみ集積所】

柏ヶ谷小学校
 柏ヶ谷コミセン
 東柏ヶ谷三丁目自治会館

▼ 募 集 ▼

社会福祉協議会「各種講座」
 ☎ 同協議会 ☎ (232)1600

【傾聴ボランティア養成/全6回】
 ⑤ 5月23日～6月27日の毎週休
 10時～12時 **場**総合福祉会館 **対**市
 内在住・在勤の方 **定**先着30人 **費**
 無料 **申**5月7日(火)から電話で同
 協議会へ。

【保育ボランティア養成/全2回】
 ⑤ ①6月3日(月)、②4日(火)10時
 ～12時 **場**総合福祉会館 **定**先着40
 人 **内**①「子どもが喜ぶふれあい
 遊び～成長発達に合わせて～」、
 ②「子ども心をぐっとつかむ絵
 本の読み聞かせ」 **費**無料 **申**5月
 24日(金)締め切り

【ボランティア入門〈誘導法〉/
 全5回】 ⑤ 6月5日～7月3日毎
 週(火)10時～12時 **場**総合福祉会館
対市内在住・在勤の方 **定**先着20
 人 **費**無料 **他**講座終了後、入会
 コースあり **申**5月31日(金)締め切り

神奈川県統計調査員

☎ I T推進課 ☎ (235)4698

統計調査員は、国などが実施
 する各種統計調査に従事する者
 で、一定区域(調査区)の調査
 を受け持ち、調査票の配布や回
 収、点検などを行います。

現在、市では神奈川県統計調
 査員の登録を受け付けていま
 す。なお、中新田、河原口、社
 家、今里地区での調査員が不足
 しています。応募などの詳細に
 ついては、I T推進課まで電話
 でお問い合わせください。

▼ 催 し ▼

有馬図書館「定例映画会」

☎ 同図書館 ☎ (238)4646

入場無料。直接会場へ。
 ⑤ ①5月11日(土)10時30分～11時
 ②5月18日(土)10時30分～11時8
 分 **内**①「まめうしくん」②「は
 れときどきぶた」

**5月は自転車マナーアップ
強化月間**

☎ 地域自治推進課 ☎ (235)4789

一人一人が交通ルールを守
 り、交通マナーを守るよう心掛
 けましょう。また、自転車の盗
 難が増えています。駐車時は、
 鍵を二重にかけましょう。



相模川左岸幹線水路の通水

☎ 県相模川左岸土地改良区
 ☎ (231)3247

相模川左岸幹線水路の通水
 が始まりました。現在は水深30
 ㍉程度ですが、5月下旬からは
 全量通水となります。農業用水
 は流れが速く、水量も多いため
 危険です。児童の事故防止のた
 め、用水路や水門に子どもを近
 づけさせない、魚釣りや水遊び
 をさせないなど、注意をお願い
 します。

**大地震への対策はお済みですか?
第1回木造住宅耐震相談会**

☎ 都市計画課 ☎ (235)9392

専門相談員が無料相談に応じ
 ます。
 ⑤ 5月25日(土)13時～17時 **場**市役
 所702会議室 **定**15人 **対**昭和56年
 5月31日以前に建築確認を受け
 建築工事に着手した2階建以下
 の在来工法による木造住宅 **申**5
 月1日(火)～15日(水)に、電話で都
 市計画課へ。



情報



- 記号一覧 日日時 時時間
 場場所 対対象 定定員 内内容
 講講師 費費用 持持物 他その他
 期期間 任任期 条条件 主主催
 HPホームページ Eメール
 問問い合わせ 申申し込み

▼ お知らせ ▼

温故館臨時休館

☎ 温故館 ☎ (233)4028

5月20日(月)、定期清掃のため
 温故館は臨時休館となります。

**ストップ!
たばこのポイ捨て・歩行喫煙**

☎ 資源対策課 ☎ (235)4922

市では、「海老名市まちの美
 化に関する条例」の中で、空き
 缶や吸い殻などのポイ捨てを禁
 止しています。

また、歩行喫煙は周りの方の
 迷惑になります。ポイ捨てと歩
 行喫煙の防止にご協力をお願い
 します。

5月は赤十字運動月間です

☎ 福祉総務課 ☎ (235)4820

日本赤十字社では、自然災害
 などの被災者への援護や、医療
 活動をはじめとした各種の社会
 福祉活動を行っています。これ
 らの活動は、皆さんからの寄付
 により賄われています。赤十字
 運動月間にちなみ、例年5月に
 自治会などを通じて日本赤十字
 社への寄付に協力をいただいで
 います。福祉総務課窓口でも受
 け付けをしていますので、趣旨
 をご理解いただき、多くの皆さん
 のご協力をお願いします。

活字では伝わらない海老名の魅力を紹介
インターネット放送局

市内各所を回って撮影し、
 主なイベントや事業、四季の
 様子など、海老名市の魅力を
 動画で配信しています。

海老名市インターネット放送局 検索

<http://www.ebinafield-itv.jp/>

フォトピックス

～4月はこんなことがありました～



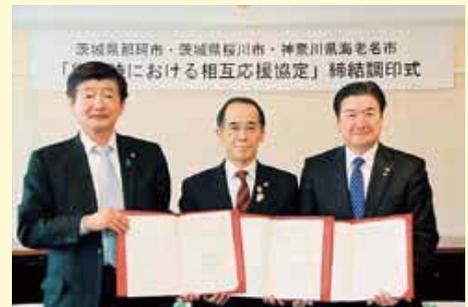
4月11日、JAさがみ海老名市青壮年部と、海老名市みずほ会の今年度の役員の方々が市長を訪問。丹精込めて育てた、イチゴ・レタス・カトレアを寄贈しました。



東名高速道路のエキスパーサ海老名で販売中の「海老名カレーパン」(箱根湯本ホテル(株)箱根ベーカリー)が、日本食糧新聞社主催の第16回ファベックス2013「パン・調理パン部門」で金賞を受賞。市長に受賞の報告を行いました。



市内の読売新聞販売店5店が、小学校13校に合計340冊の書籍を寄贈し、販売店の代表が、直接児童に書籍を手渡しました。この書籍は、市内小学校の全クラスと図書室に配布されます。



4月5日、茨城県那珂市と桜川市、海老名市の3市で、災害時における相互応援協定を締結し、海老名市役所で調印式を行いました。

(左から) 海野那珂市長、内野海老名市長、中田桜川市長

編集後記

「阿^{あうん}の呼吸」ってご存知ですか？二人以上の人たちが呼吸を合わせ、言葉がなくとも微妙な気持ちや調子がピタリと合うような時に使われます。大谷四区親睦会の皆さんのこいのぼりを揚げる様子は、まさしくこの言葉どおりでした。こいのぼりは大空を舞い、皆さんの元気を願っています。さあ、私たちもゴールデンウィークは、元気に外に出かけましょう！(ひ)

便利です！ 「えびなメールサービス」

登録は psc2.i@fofa.jp へ空メールを送信。
詳しくは市ホームページまたは
IT推進課へ。

☎ IT推進課 ☎ (235)4715



広報えびな 点字・音声版

広報の文字が見えにくい方にお送りします。

☎ 障害福祉課 ☎ (235)4813

●人口
128,531人
男：64,668人
女：63,863人
●世帯数
51,835世帯
(平成25年4月1日現在)

防災行政無線放送 音声ガイド

一般加入電話および
携帯電話から

☎0180-994-050
☎ 危機管理課 ☎ (235)4501